

【22_340技術系メルマガ】各時間足から『何を知りたい』か？

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

今日は少々テクニカル系の話になりますが、皆さんがトレードする際にひとつの時間足しか見ないという人はいないと思います。

ですが、このいわゆる『マルチタイムフレーム』。大事だとは分かっているけども

それらを『どの時間足』で『どんな情報を取るか』まで一貫したルーティンを定めて運用しているか？と問われたらどうでしょうか。

恐らくは、その点がおぼろげになっているために

いつも分析に一貫性を保っているかわからなかったり、どこか自信がない・・・という状態から抜け出せずにいる人も多いのかなと感じています。

今回ピックアップさせて頂いた質問からも、言葉は少ないながら

そのようなニュアンスを感じられました。

▼質問はコチラ▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-12-07.png

そこで今回は、あくまで僕のスタイルに基づく事例となりますが

マルチタイムフレーム分析を精度よく行うために必要な要素である

『どの時間足から、どんな情報を得るべきなのか』という点についてまとめてみようと思います。

□

└─ ■ トレードスタイルによって異なる『要所』を捉えること

主に、今自分の行っているトレードが『デイトレ』なのか『スイング』なのか？

要は保有時間(狙う波のサイズ)によって、そこから取るべき情報(目的)というのは変わってきます。

まず、この前提を踏まえたうえで先を読み進めて頂くようお願いします。

なお、今回は僕のトレードスタイルを前提として例示するので

トレードスタイルとしては『短期デイトレ(H1足1波の途中から途中まで)』になります。

講座やサロンのメンバーの皆さんには、僕の分析手順は詳しくお伝えしていますが

基本的に一連のエントリーまでの検証手順は以下の通りです。

～～

・M5～M15足でのセットアップ(主にMA収縮)を確認し、目線を決める
⇒この時点で、M5足のトレンドを考慮して『目線』を決める

・H1足の環境を確認(主にH1/20のグランビル、【236】通目参照)

・H4足以上の環境を確認(主に、邪魔な水平線・MAと現在値との距離を測る)

・待ち伏せるポイントをM5～M15足で決める(MAとの接触点。【256】通目参照)

(・ストップ幅を最小化するため、M1足のパターンに分解してエントリー)

最後の()の工程は、突き詰めてやるかどうか人によるので、必須ではないという意味で

カッコ付きとしてあります。

～～

このように、各時間足毎の【工程】を明確にすることで、それぞれの時間足において

『どんな情報が必要か』を整理する事が出来ます。

僕の場合はまとめるとこんな感じです。

『M5～M15足・・・エントリーポイント、価格の進行方向を決める根拠』

『H1足・・・下位時間足の目線と食い違ってないかを確認(トレンド・グランビル)』

『H4足以上・・・エントリー方向に対する空間探し(邪魔なMA、水平線が無い・もしくは少ないこと)』

更に必要な情報を具体化すると、トレンドを意識するのはH1足以下で良く、逆にH4足以上ではトレンドよりも『空間の広さ』を意識することが重要だと分かります。

ちなみに、質問にあった日足以上の4本値についてですが、僕の場合現在では

自分が待ち伏せる場所に、日足の終値があるかどうかを確認する事はありますが

それによって目線を変えるといた対応はしていないので、あまり優先度の高い情報ではなくなっています。

各チャートから得る情報は、トレードスタイルの変遷によって必要なものが変わってくるものです。

ですので、あまり「べき論」で考えすぎず、自分の分析目的をよく考えて、そのために必要な情報をその時間足から得て

各時間足の根拠に繋げていくように意識する事が大事だと思います。